

2014 年度 金沢大学 英語 解説

▶説明問題が多く出題される。主張、具体例等を読み取る訓練を重点的に行い、効率良く解答を作成できるようにしておく。

解答方式	時間	大問数	難易度
記述式	90 分	4 問	やや難

■設問別分析

大問	区分	内容	難易度
1	長文読解	説明問題	やや難
2	長文読解	説明問題、和訳問題	やや難
3	会話問題	空所補充	標準
4	英作文	下線部英訳、自由英作	標準

■設問別解説

1

問1 説明問題

下線部直後の if から始まる文、さらに次の文の But if から始まる文が該当箇所。

抽象⇒具体の関係と対比を意識する。

問2 説明問題

下線部直後をまとめればよいが、関係代名詞により構造がやや取りづらくなっている。

問3 説明問題

下線部の後にあるコロン以下の文をまとめる。下線部に question とあるので、2つ疑問文をまとめればよいのは考えやすい。

## ②

### 問1 説明問題

第3段落後半の A naturalist, Ronald Lockley から始まる文が該当箇所。

分詞による修飾を把握し、that 節内の主語と動詞を正確に判断する必要がある。

### 問2 説明問題

仮説と実験の内容を正確にまとめる。

their being able to ~ 動名詞の意味上の主語を正確に把握できるか、また、実験の内容に関して、第6段落の To study this に注目できればよい。

### 問3 和訳問題

looking 以下の分詞の修飾や、how 以下の主語と動詞が捉えられるかどうかポイント。

how 以下の主語は this one cat ~ trips、動詞は managed である。

また、such impressive act of navigation の意味は such を利用して、下線部より前の内容を反映させた訳を作らなくてはならない。

## ③ 会話問題

会話文の空所に会話の流れに沿った英文を入れる問題。

## ④ 下線部英訳、自由英作文

テーマはグローバル化。

50語から60語の英語で、留学生などに日本にいる間に必ずしてほしいことを書く。